

核データ研究会準備委員会61年度第1回会合議事録

日 時：昭和61年4月11日 13:30～17:00

場 所：原研東海研 研究2棟 221号室

出席者：川合、中沢、松延、中嶋、喜多尾、飯島、河原崎、高野、長谷川、
浅見、中川、五十嵐

配布資料

- (1) 核データ研究会準備小委員会会合議事録
- (2) 1986年核データ研究会準備委員会委員についてのお願い
- (3) First Circular on 1986 Seminar on Nuclear Data
- (4) 中国北京原子能研究院核データセンター蔡敦九氏への手紙

議 事

1. 研究会準備小委員会での検討事項及び準備委員会委員候補の推せんについて説明があり、運営委員会の承認を得て配布資料2の案内を各委員に送った経過の報告があった。吉田正氏(NAIG)が辞退したので川合将義氏(NAIG)が代りに委員に推された。
2. 小委員会で挙がった研究会トピックスの紹介が配布資料2により行れ、検討と討論を行った。

主な議論を以下に示す。

- その他の項目にレーザー濃縮関係のレビューを加えてはどうか。
- spallationは取りあげないのか。
- 感度解析はFBRとFPのみで良いのではないか。
HCLWRとFusionは炉定数の立場からまとめられる。
- ポスターセッションのテーマには最近の国内における核データ活動をプログレスレポートから選んで行ってみてはどうか。

これらの議論を踏え、時間配分を配慮したプログラム粗案を検討した。

3. プログラム粗案

講演数は約20件が考えられる。主なものをあげる。

(1) 炉定数関係

- 核融合炉の感度解析 …… 東大
- HCLWR の炉定数の立場から …… 原研, 阪大, NAIG
- 遮蔽の炉定数の観点から …… 東大, シグマ委員会

(2) JENDL-3 以後の問題

- (r, n) 反応のレビュー …… 村田氏 (NAIG)
- 核燃料核データを国産データに置きかえ得るかどうかの問題
- データベースの立場からの核データ利用上の問題。
- JENDL-3 以後の問題検討小委員会のまとめ。
- ORIGEN-2 データの内容と問題点。
- 臨界安全ハンドブック関係の話題。
- DPA 及び照射損傷の問題。

(3) 測定関係

- 放射化断面積データ
- ガンマ線データ
- 高速中性子の弾性, 非弾性散乱データ

以上をまとめて大凡の時間配分を行った。

これを基にして可能なテーマについては講師の交渉を始める。また、プログラム粗案を準備委員に配布する。

次回は 5月30日(金)に東京で開き、講師交渉、講師交渉、講演テーマ案を考えることにする。

11/11	11/12	11/13
	9:30 III J-3 以後(II) (i) 核データ利用上の問題 (ii) DPA, Damage coffee ポスターセッション	9:30 V. 測定 (i) activation σ (前川) (ii) r -production (北沢) coffee (iii) 高速中性子散乱(山内)
13:30 I. Opening 14:40 II. J-3 以後(I) (i) J-3 以後のスコープ (中沢) (ii) (α, n) 反応 (村田) (iii) ORIGEN-2 (肥田) (iv) 臨界安全ハンドブック 18:00 reception	13:30 IV. 炉定数 (i) 核融合炉(岡) (ii) 遮蔽(橋倉) coffee (iii) HCR (a) 原研(高野) (b) 阪大(竹田) (iv) FBR の FP	13:30 VI トピックス (i) A&Mのレビュー-(中井) (レーザー濃縮, 核融合) (ii) 加速器(spallation) (水本, 喜多尾, 磯矢) coffee (iii) 荷電粒子反応(橋爪) (iv) 光核反応(?)